

第 39 回神奈川県肉牛共進会が開催される

神奈川県家畜商業協同組合主催の第39回神奈川県肉牛共進会が開催され、7月22、23、25日の3日間にわたり出品牛の巡回審査を実施しました。本年度は、県下10市町から黒毛和種牛15頭、交雑種牛10頭の計25頭の肥育牛の出品がありました。当所では、出品牛の審査業務を中心に協力しており、審査は、出品があった生産者を巡回し、出品牛の体高と胸囲及び腹囲を測定して発育の確認をした後、目視および触診により肥育状態を判定しました。今回も、十分な体積を備え、資質に優れた肥育牛が出品されており、僅差での競い合いになったため、序列付けが非常に困難でした。最終的に、より均称（前中後軀の釣り合い）がよく、肉付きや脂肪のまわりなどの肥育状態の優れた、かつ質感の高いものを入賞牛として選出（黒毛和種の部6頭、交雑種の部2頭の計8頭）しました。入賞牛は引き続き各経営で飼養されたのち、関東肉牛枝肉共進会に出品されます。



【審査のようす】



【名誉賞を受賞した肥育牛】

県内の肥育経営は、肥育素牛や飼料の価格高止まりに対応して、経営コストを削減しながら高品質な牛肉の生産に取り組んでいます。このような共進会の開催や入賞が、少しでも経営意欲の喚起に役立ってくれればと願ってやみません。

備考 関東肉牛枝肉共進会は10月に開催が予定されており、本共進会はその予選にあたります。